

議 事 録

会議名	令和4年度寒川町社会教育委員会議第3回公民館部会		
開催日時	令和4年12月15日（木）午後1時30分～午後3時40分		
開催場所	寒川町民センター 1階 会議室		
出席者名、 欠席者名及び 傍聴者数	出席者：山口委員(部会長) 堀委員(副部会長) 菊池委員 平本委員 森委員 欠席者：なし 事務局：高橋教育政策課長 山口教育政策課副主幹 小林教育政策課主査 指定管理者：別府町民センター館長 傍聴者：1名		
議 題	報告事項(1)令和4年度公民館事業実績報告（8～11月分）について (2) 第62回関東甲信越静公民館研究大会茨城大会での分科会事例発表について (3)令和4年度神奈川県公民館連絡協議会表彰について (4)派遣委員報告 協議事項(1)令和4年度社会教育委員連絡協議会地区研究会（寒川町会場）の開催形式について		
決定事項			
公開又は 非公開の別	公 開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<p>1. 開会 あいさつ 山口部会長 高橋教育政策課長</p> <p>2. 議事録承認委員の指名について 各回名簿順に2名ずつ依頼 菊池委員 堀委員</p> <p>3. 報告事項 (1)令和4年度公民館事業実績報告(8～11月分) 指定管理者より資料2について、新規事業を中心に説明</p> <p>【部会長】ただいまの説明に対しまして、ご意見、ご質問はございますか。 【委員】北部公民館の「リメイクを楽しもう」は何をリメイクされたのですか。 【指定管理者】古着や古布をほどいて生地に戻して、新たな服を作るという講座でした。 【部会長】私も見ていましたが、ベストを作ったり、ネクタイでリメイクをしたりしていました。 【委員】私もネクタイを使ったリメイクに興味があったので。</p>		

【指定管理者】サークル化の目途も立ったと聞いています。

【部会長】私からもお聞きしたいのですが、町民センターの⑬「サークル入会体験フェスタ」が今年は14名入会ということで、昨年より増えているので嬉しく思います。この14名の男女比や年代、どのようなサークルに入ったかわかりますか。

【指定管理者】加入者の詳細は本日用意してこなかったのですが、館によって差があります。南部は参加者19人と多かったのですが、加入は6名で、参加者が多くてもそのまま加入にはいかないという状況でしたが、前回と比べて結果的には増えました。

【部会長】これは公民館の活性化につながる一つになると思います。

【指定管理者】わずかな人数ですが、地道にやっていくこともひとつの方法だと考えています。年2回のサークル入会体験フェスタは今後も継続していきたいと考えています。

【部会長】北部公民館では2つのサークル、麻雀とリメイクがサークル化できそうだということで、興味を引くような講座を今後も考えていければ公民館がもっと活性化すると思います。私も生涯学習推進員の一人として考えていきたいと思っています。ほかにはご意見いかがですか。

【委員】私が講師をした11月26日の寒川歴史散歩と町民センターの歴史講座の日程が同日で、歴史関係の公民館講座が重なりました。他にも観光協会のひまわりのイベントや小中学校の適正化の会議も重なり、日曜日に産業まつりもあり、ちょうど行事が集中するような時期でした。

【指定管理者】歴史関係の公民館講座は近い日程で5本開催してしまい、それぞれ参加者が定員に満たなかったことから日程設定は反省点です。

【委員】私も出たい講座があったので残念です。

【指定管理者】町民センターの歴史講座はいつも人気なのですが、この時はテーマも長篠と桶狭間と歴史好きには人気のありそうなコンテンツであるのに定員に満たなくて、参加者が少なかったことは申し訳なかったです。

【委員】最近では広報の出し方もわかりにくいです。私の講座のアンケート意見でも出ていましたが、タイトルだけで、講師名も出ていないし、内容がわからない。広報よりもポスターで知ったという人もいました。周知方法を工夫してくださいという意見でした。

【指定管理者】これだけ事業が集中すると掲示板も混みあい、各館で掲示板が取り合いになる状況もよくなかったです。そのあたりも改善しなければいけないと思います。

(2)第62回関東甲信越静公民館研究大会茨城大会での分科会事例発表について

【事務局】10月28日にオンラインで開催されました今年度の関東甲信越静公民館研究大会分科会についてご報告させていただきます。今年度は神奈川県の実例発表を町民センター館長にご担当していただいたことから、県公民館連絡協議会の参加費負担で分科会発表をインターネットで視聴させていただきました。当日は、ZOOM配信で申込登録者しか見られないもので、町役場の会議室にパソコンをつないで、山口委員、森委員、倉本委員にご参加いただきました。本日は当日の発表資料を資料3に付けております。来年の地区研究会の発表の参考にもできるかと思われます。今回、参加した分科会テーマは「課題解決のための連携・協働」ということで、別府館長には「学校や地域住民など多様な主体と連携した公民館講座・イベントづくりについて」とい

う事例発表をしていただきました。分科会の時間は 50 分で、事例発表は 30 分、その後質疑応答と助言者の講評が 20 分の時間配分で行いました。発表内容は、まず寒川町の概要と、公民館の沿革、平成 29 年度から指定管理者制度を導入したことに触れて、公民館活動の紹介をしました。それから公民館 3 館の事業実績をもとに、小学校、中学校、高校、大学と連携した事業の事例や、エコネットやだがしや楽校など地域の団体や個人と協働した事業、企業の助成を得て実施した事業などの事例を紹介し、多様な主体との連携を進めることにより、公民館も学校・団体・企業等もお互い Win=Win の関係にできること、新しい学習メニューを企画することで、公民館になじみの薄い層へも働きかけ、新規参加につなげていきたいと、まとめました。分科会助言者の文教大学人間科学部教授の金藤ふゆ子先生にも、子どもフェスティバルなどの取り組みについては高く評価をいただきました。12 月中旬から分科会がインターネットで配信予定なので、ぜひご視聴いただければ幸いです。町民センター館長から補足などありますでしょうか。

【指定管理者】 小、中、高、大から地域の団体との連携までということの説明させていただきました。はじめは小学校の子どもフェスティバルを例に出して説明しましたが、これは指定管理が始まる前から実施をされていた事業で、我々が新しく考えた事業ではなく、直営化の頃から実施していた事業です。残念ながらコロナで実行委員会ができなくて、今年度は小学生の実行委員会はやらないで生涯学習推進員だけで行おうとしましたが叶いませんでした。コロナ禍でこのような良い事業ができなかったことは残念ですし、中学校との連携で寒川中学校吹奏楽部が小学生に楽器を教えるという事業も非常に良い事業なのですが 1 回しかできておりません。この事業は指定管理以降に始めたのですが、寒川中学校の吹奏楽部の部員が減少していると南部公民館の職員が先生からお聞きしたことがきっかけで何か協力できないかということを始めました。高校とは寒川高校の科学部が出前講座に来ていただいて、大学は今度、神奈川工科大学へ来月町民センター事業としてマイクロバスで子どもたちを連れて館外学習をする予定です。小中高大の事業数はまだ少ないのですが、これからも学校とは連携を深めて、我々だけでなく学校にも実があるように、お互い Win=Win になれるようにやっていきたいと思います。

(3) 令和 4 年度神奈川県公民館連絡協議会表彰について

優良公民館表彰受賞：寒川町民センター

職員等功績表彰受賞：寒川町民センター 別府拓自

表彰式は令和 5 年 1 月 20 日の県公民館大会にて実施。

(4) 派遣委員報告

- 10 月 26 日 寒川町公共施設再編計画進行管理委員会（森委員）

【委員】 前回は書面会議になっていたため書面会議の振り返りと、これからの公共施設のマネジメントについての議題がありました。内容としては、消防の広域化ということで、4 月 1 日から消防が茅ヶ崎に統合されて、新たな拠点として南部地域の分署、北部地域の出張所の 2 箇所を作ることになっているのですが、残念ながらまだ土地所有までには至っていないということです。場所はどこかと聞いてもまだ地主と折衝中

でとのことでした。国による財源補助が広域化してから10年以内とされているので、鋭意努力をしているという話でした。私も質問したのですが、消防は火災や救急車出動がメインだと思うのですが、水害の問題もあるのではないかと、低い場所だと消防署が水没して動かなくなるかと、もし未定であればその点も想定した方がいいのではないかと言いました。そのあたりは加味して考えているとの回答でした。その他は役場の自家発電設備について、消防庁のガイドラインでは72時間だそうです、今回は連続稼働時間29時間のスペックで進めるということでした。理由としては庁舎の老朽化が進んで、遠くない時期に建て替えが考えられることから、現在は72時間とするのは設備投資の金額として妥当ではないということでした。それまでは石油共同組合と協定を結んでいるとのことですが、委員からは災害時は道路事情など困難なので、燃料が潤沢に入るとは限らない、協定を結んでも難しいのではないかと、小型のタンクローリーを近場に待機させるなどの策も検討する必要があるのではないかと意見がありました。あとは美化センターの機器修繕や町営プールの問題、町立小中学校の適正化などを進めているということで、委員には東海大学や帝京大学の教授といった専門家の方がいますが、この際簡単に言ってしまうと新しいあり様を考えてはどうかという意見がありました。そのためには委員があちらこちらで新しい学校を造っている実例を見学すればあり様が浮かぶのではないかとっていました。例えば図書館やプールなどを1校1校もつのは大変なので、7~8校で1つの温水プールを持って、専任指導員を置くことにすると4月から使用が可能になる、時間帯は送迎バスで移動する、おもしろい話では藤沢市議会の会議場で高校生が勉強しているそうです。静かな場所だということだそうです、まさかそんな場所で勉強するとは考えなかった。そんな例もあるという話でした。あとはこれからの公共施設マネジメントについて、こういう手法で考えていますという話がありました。

- 10月31日 県社会教育委員連絡協議会議理事会出席報告（森委員）
 - ・全国社会教育委員連絡協議会大会広島大会について
茅ヶ崎市の社会教育委員が表彰
 - ・県社教連地区研究会（愛川町・箱根町会場）について
愛川町の会場は駐車場が少なく、他の地域から駐車場の確保をしてもらえないと困るという意見あり。箱根町の会場は小田原からバスで1100円かかり、通常40~50分のところ、この10月は観光客も増えて1時間20分ほどかかるので、時間に余裕を持ってきてくださいとのこと。開催時期は雪の心配があり、雪の場合は中止となる。
 - ・令和5年度関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会について
事例発表が5分科会あり、各市町村が過去に発表した事例を研究テーマに分類して市町村に割り振ってお願いしていたが、手があがらない。今後調整するとのこと。
 - ・令和7年度関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について
どのように行うか案の作成。前回は市町村で5部会、行政関係で2部会、特別分科会が2部会。協賛金集めが非常に大変だったので、身の丈に合った大会にしたいということ。令和6年2月にスローガンを決定予定のスケジュールに遅いという意見あり。

事業検討委員会も立ち上げるとのこと。

- ・ 県内の地域学校協働活動の情報交換を行った。
- 11月21日県社教連地区研究会参加報告（愛川町会場）
参考資料の当日配付資料のとおり

4. 協議事項

(1) 令和4年度社会教育委員連絡協議会地区研究会（寒川町会場）の開催形式について【事務局】 それでは、資料4と6について説明をさせていただきます。前回、来年度の地区研究会の事例発表について、どのような内容でいくかご検討いただきました。今回もその継続を考えておりましたが、県から来年度の開催予定時期の確認があり、また先日、愛川町での地区研究会に参加し、ある程度の開催形式を固めさせていただきたいこともあり、本日はまずそのことについて協議をお願いいたします。なお、正式に県から開催依頼の文書が来るのは来年5月頃、開催にかかる費用の予算上限は9万円とのことです。まず、開催時期について、11月と2月に開催されることが多いのですが、県の生涯学習課から来年11月21日、22日に婦人会の全国大会が横浜で開催されるとのことで、その付近は県担当者の対応が難しいので、避けて欲しいと話がありました。寒川町婦人会も分科会を担当することになるので、当日までは忙しいと思われるので、寒川町は2月開催にしたいと考えていたのですが、地区研究会のもう一地区の開成町が2月開催を強く希望しており、やむなく寒川町が11月中～下旬と2月を除いた時期に開催日を設定することにいたしました。候補日として11月上旬か、12月、1月が考えられますが、11月上旬だと準備期間がそれだけ短くなってしまふこと、12月は町議会が15日（金）まで開催されていること、1月は寒川町内の道路事情が神社参拝者で混雑することを考え、12月20日か19日でいかがだろうかと考えております。なお、今年度、2月の箱根町会場は天候不順の場合は書面開催に変更とお聞きしたので、対面開催か書面開催かは地区研究会開催地で選択してもよいのかを県生涯学習課に確認しましたところ、対面開催を原則としているそうです。それに伴い、資料4の②に会議スケジュールを組んでいきますが、委員報酬の予算上、4月から研究会発表まで4回、全体会か部会を開催する予定でおります。この内容で発表内容のブラッシュアップできればと思います。③は地区研究会の開催内容になりますが、前回会議で公民館部会と図書館部会で事例発表2つ行うにあたり、大テーマはつけないと話をしていましたが、先日の愛川町や他の例を見ますと、メインテーマが開催要項に出ておりますので、あった方が良さそうなので、事務局案として仮テーマで令和2年度の部会協議で使用した「町民の学びを支える公民館・図書館のあり方について」を入れております。まだ各部会の研究発表内容が固まっておきませんので、これは今後あらためて検討していきたいと考えております。地区研究会の内容についてですが、主催者、来賓あいさつなどの式典、人権講話と会場地の研究発表を行うことが必須、その他は任意で内容を構成してよいとのことでした。地区研究会ではその町を紹介するアトラクション、民俗芸能やゆかりの人や団体による舞台発表がよく行われておりますが、先日の愛川町は開演前まで会場内で動画上映をしており、アトラクションの時間としては研究発表会の中ではとっていませんでしたが、事例発表の中で、半原地

区に伝わる管巻き唄の民踊と、三増合戦まつりで使われている手作り甲冑隊の登場があり、社会教育委員も甲冑を着て舞台上がるという演出がありました。町を紹介するものをアトラクションではなく、伝統芸能のようなものを研究発表に取り入れていました。この町を紹介するアトラクションを寒川町の場合では実施するか、しないか、またするのであれば内容はどのようなものが考えられるのかご意見、ご提案をお願いいたします。こんな方がいるというようなアイデアのようなもので結構です。また、人権講話について、参考資料②にかながわ人権施策推進指針の概要版をおつけしておりますが、社会教育では人権教育の推進を目指していることから、地区研究会に人権講話を必須とするようになっていきます。人権のテーマというと 13 の分野があって、子ども、女性、障がい者、高齢者、疾病等にかかる人権課題、同和問題、外国籍県民等、貧困等にかかる人権課題、犯罪被害者等、北朝鮮当局によって拉致された被害者等、性的マイノリティ、インターネットによる人権侵害、様々な人権課題があります。人権講話がほしい 20 分くらいで設定されています。愛川町では人権擁護委員さんでしたが、過去の地区研究会では障がい者の方や、児童養護施設の方などを講師にお招きしている地区研究会もありました。このような人権課題の中から、寒川町で講師をお願いできるような方やテーマがありましたら、ご提案いただければと思います。さらに研究発表の内容ですが、前回会議で出た意見をもとに、このような流れで構成してはどうかというものを作成したのが本日追加で配布した資料 6 になります。様々な数字を出すという話をしていましたが、今年は周知に LINE も活用し始めたのでその実績を裏面に掲載しております。これまでの会議でも出している数字実績なので、今回は細かい数字を追うのではなく、発表の流れの確認をしていただければと考えております。そこで、前回意見で出ておりました※印の部分、寒川の特徴的な事業や事例研究として講座企画をする、地域や学校、団体と連携した事業の事例は入れるかどうかというご意見をいただければと考えております。また、学校と社会教育が連携する地域学校協働活動について、触れるかどうかのご意見いただきたく、寒川町では各小中学校に令和 5 年度までにコミュニティスクールが設立されます。そのことも発表に入れるかどうか検討させていただきたいと考えております。旭小学校は今年度から設置とお聞きしておりますが開始されているのでしょうか。

【委員】 設置はしたのですが、学校がまだ外部の人を入れていない状況なので、活動はできていません。委員には自治会長や有識者の方と校長、教頭の 7 名で構成しています。今年 6 月に第 1 回の会議を開いて、コミュニティスクールの説明をさせていただきました。予定では次を 10 月頃にしていたのですが、コロナの状況もあり、12 月に第 2 回の会議を行いました。その中で、委員からも一体何ができるのかという意見もありまして、私から説明したのは、愛川町の資料にもありましたが、子どもたちを地域全体で育てていくということがコミュニティスクールの根本的な考え方になります。そのために、地域の人、保護者、学校がそれぞれ同じ子ども像を求めているか話し合いをすることを熟議という言い方をしますが、話し合いによってそのイメージ、子どもたちが成長していくための共通のイメージを抱いている、まずそこから始めなければいけないということになっています。第 2 回目の時ではうちの学校では、このような子どもたちに育ててほしいということの話し合いになりました。やはり共通し

て出てくるのは、心が優しい子どもたちに育ててもらいたいということでした。そのためにはどうしたらよいのか今後考えていきたいと思いますということなのですが、うちの学校で、とある横浜の学校の校長先生からある日突然電話がありました。その方は藤沢に住んでられるようなのですが、散歩をしながら、うちの学区を歩いていた時に、小学生の女の子に「こんにちは」と声をかけられたそうです。その方も「こんにちは」と返して通り過ぎたのですが、その後、何分もしない内に別の男の子からまた「こんにちは」と挨拶されたそうです。全く見ず知らずの自分に小学生が立て続けに2回も挨拶をしてくれたのは一体どういうことなのだろうと思って、わざわざうちの学校に電話をかけてくださったということでした。どうしているでしょうと尋ねられ、私も考えましたが、学校に登校する時や廊下で出会った時には「おはようございます」「こんにちは」と言っていたり、児童会のメンバーが校門に立って挨拶運動をしていたりということはありません。それ以外は特別なことはしていないという話をしたのですが、とにかく知らない人にもしっかり挨拶ができるということに感動しましたとお褒めの言葉をいただきました。この話題を先日の会議でお話したところ、優しい子どもたちに育ててもらいたいということは、まずはコミュニケーションという話になり、コミュニケーションの基本はやはり挨拶ということで、委員の方がそれぞれの立場で挨拶運動はどういうことができるのか、次回、3学期の会議で、お互い知恵を寄せ合いましょうという話し合いで終わっています。それなので活動はまだできていません。コミュニティスクール活動は寒川小学校が一番早くモデル校として立ち上がったのですが、おそらく昨年、今年は外部の方に協力してもらって活動はできていないと思います。コミュニティスクールの中に部を作るのですが、基本的な形だと学校支援部ですとか、環境整備部といった部を作ってそれぞれにリーダーを作って活動していくようになっています。学校支援部は地域の人に学校に来てもらって、子どもたちに体験をしてもらうとかになりますが、これは今までどの学校でも体験授業はあるので既にやってきました。とくに小谷小は地域とのつながりも強かったので、いろいろな方に来てもらってやっていましたが、コロナで一斉に外部の方を学校に入れていません。うちの学校では授業参観、懇談会もできていませんが、個人面談はしています。外部の方に協力いただいていた時も高齢の方が多いので、やっぱり学校でも対策はしているけれど、外部の方を学校でコロナに感染させてはいけないということで、今までずっと協力いただいていた方にも活動をお断りした経緯もあります。実際に愛川町ではどこまでやられるのかわかりませんが、コロナの影響を受けて、活動はできていないことが現状です。愛川町の資料もおそらく参考として入れて、この内容の発表はしてないと思うのですがどうでしたか。

【事務局】 愛川町では、社会教育委員である校長先生が舞台に出て発表をしていました。あと、コミュニティスクールの委員をやっている社会教育委員の方も事例紹介をしていましたが、やはりコロナでできなかったと言っていました。今年はラジオ体操を始めたけれど、すぐにコロナで中止となってしまったそうです。

【委員】 ラジオ体操はコロナと関係なく昔から活動していませんか。

【事務局】 コミスクで意見が出て、コミスクの活動としてラジオ体操をやり始めたということでした。

【委員】 事例であげられるのは寒川小学校ぐらいで、他は立ち上がってこれから何をし

ようかというところなので、発表する内容まで行っていないと思います。うちの学校の場合はそういう現状で、発表できるようなものがないです。

【事務局】 このあたりの話を来年度の研究発表で触れるかどうかというところですが、これを公民館部会、図書館部会の事例発表の他にコミスクの発表を入れるか、発表の中に溶け込ませるか、実際の活動事例が出せないで、寒川町の発表ではあえて行わないか選択肢があるかと思います。さらに、公民館部会の発表はアトラクションの有無で左右しますが、30分から45分くらいになることが想定されます。発表は1名で行うか、部会員全員で分担するかについて、実際には30分から45分を1人でずっと発表するのは大変だと思いますので、複数人でやった方がよいかとは思いますが。愛川町ではほぼ全員が分担して発表に係わっていた様子でした。前半の発表では社会教育委員はいろいろな団体、PTAや婦人団体などから推薦されて選出されていることから、社会教育委員の活動というよりも、個々の自分が所属する団体の活動のことを発表されていました。説明が長くなってしまいましたので、まず、一つ目に開催時期と今後の会議スケジュール、2つ目がアトラクションの実施有無と内容、人権講話の内容、3つ目が事例発表の構成と発表者についての3つに分けてご意見いただけますようお願いいたします。

【部会長】 ただいま事務局より説明がありました。本日は来年の研究発表大会の開催時期と今後のスケジュール、研究会の内容について、委員の皆様からご意見いただきたいと思います。まず開催時期と今後の会議スケジュールの部会開催月について、ご意見いかがでしょうか。開催時期は説明がありましたが、事務局では12月しかないとのことですので、2月は開成町が譲らないとのことと、議会等もあるとのこと、1月も県公民館大会があるので、12月20日か19日に絞られるということですね。

【事務局】 または11月上旬に行うという選択もできます。

【委員】 10月でもいいのですか。

【事務局】 可能だとは思いますが、開催までの準備が早くなります。

【事務局】 学校は12月のこの時期は通知票など時期的にお忙しいですか。

【委員】 12月19、20日は難しいです。通知票の最終チェックをしている時期です。

【事務局】 そうなると1月がよろしいですかね。

【委員】 学校としては1月の方がありがたいですが、他との調整もありますよね。

【部会長】 1月であれば県公民館大会の日程も関係あるのでここでは決められないということですか。

【事務局】 例年、県公民館大会は金曜日が多いので、おそらく1月19日か26日が公民館大会だと思われます。それ以外であれば大丈夫だと思います。

【部会長】 1月16日から31日の間で、金曜日を外せばいいですか。この2週間のうちに大会を入れても大丈夫でしょうか。

【事務局】 逆に寒川町が先にこの日にすると決めてしまえばよいのではと思います。次の公民館大会の会場と日程がまだ不明なので。

【部会長】 時期が遅くなった方がこちらの準備はできますね。

【事務局】 12月ではなく1月にいたしましょうか。

【部会長】 水曜日だと1月17か24日になります。そのあたりでいかがでしょう。

【事務局】 1月だと神社への初詣渋滞などのも気になりますが、平日なのでそれほどで

はないと思います。

【委員】 土日に絡まなければ何とかなのではないですか。遅い時期の方が神社参拝も空いてくると思います。

【部会長】 皆さん、1月でいかがですか。1月の最後の22日の週で、まだ先のことなので、皆さんまだ予定は入っていないと思いますが。

【委員】 開成町の日程は決まっているのですか。

【事務局】 開成町は2月と言っていましたので、2月にかからなければ構わないかと。今年の箱根町が2月15日なので、おそらくその辺りだと思われます。

【部会長】 それでは寒川町で先に日程を決めて、県公民館大会と被らないように決めてしまっ構わないですかね。

【事務局】 はい、1月22日から31日までの間で交渉いたします。

【部会長】 それではこれでよろしいでしょうか。

【事務局】 来週図書館部会がありますので、そこでも確認いたします。おそらく開催時期が早まるより遅くなるので反対意見は少ないかと思ひます。

【委員】 土日はやらないですよね。

【事務局】 はい、平日の予定です。土日は会場が確保しにくいと思ひます。

【部会長】 これをふまえて今後の会議のスケジュールということで、資料4にありますが、この※印の3回の部会ということでしょうか。少し開催時期が遅くなりましたが、資料の作成含めて準備しておきますか。

【事務局】 配布資料は当日までに準備できていれば大丈夫です。愛川町の例でいえば、配布されたレジメの量はそれほど多くありませんでした。発表資料の内容は開催地ごとに作りこみ方は違ひます。愛川町はおそらく参加者は100人程度だったかと思ひます。参加人数は開催地のアクセスによるところも大きいと思ひますが、寒川町だと電車が利用できるのもう少し多くなるかもしれません。

【委員】 愛川町は観光案内のパンフレットもいろいろありました。

【事務局】 寒川町でも同じようなものは入れたいと思ひます。

【部会長】 1月下旬に開催となると、模擬発表の月が決まればその他はひと月おきに会議になりますか。

【事務局】 模擬発表を11月か12月で考えたいのですが、発表の内容についてはどうしましょうか。

【部会長】 ここで確認するよりも、事務局で案を出していただいた方がいいかもしれません。

【事務局】 今までと同じような会議パターンであれば、4月、6月、8月というような日程ですが、発表内容を検討する時期は毎月とするようなのも構わないでしょうか。

【部会長】 あまり間をあげない方がぼけなくていいと思ひます。

【事務局】 それでは内容を詰めるところは短期間で行えるよう調整させていただきます。

【部会長】 それでお願いいたします。これは公民館部会だけですね。

【事務局】 はい、図書館部会と調整しまして、場合によっては部会の開催月が進行状況によって違ってくるかもしれません。

【部会長】 それを含めて、事務局で提案をしていただければと思ひます。よろしいでしょうか。それでは続いて③地区研究会の開催内容について、メインテーマと人権講話、

研究発表、町を紹介するアトラクションについてですが、まず任意のアトラクションについて実施するかしないか、ご意見ありましたらお願いします。

【森委員】アトラクションをするとすれば、どれくらいの時間をとりますか。

【事務局】20分程度になると思います。以前、見たことのあるアトラクションは人形浄瑠璃の演目を1つ上演という感じでした。

【部会長】寒川町は茅ヶ崎市も含めて浜降祭がありますので、祭ばやしなどの賑やかな感じのものや、獅子舞などはどうでしょう。新年の獅子舞はコロナの影響で巡回実施はしないそうですが。

【委員】獅子舞は観光協会ですね。練習だけはしています。

【部会長】そういうものがあつた方が。発表だけだとつまらない。

【委員】発表だけでなく、やっぱり何かあつた方がいいですね。

【委員】個人的な意見ですが、伝統的なもので仮に獅子舞であれば、あと内野氏の BMX はどうですか。

【事務局】倉見でやっていますね。

【委員】自転車競技の BMX が町民センターの舞台でできるのかはわかりませんが。

【事務局】できると思います。図書館まつりでは図書館1階の児童書コーナーの8畳くらいの狭いスペースでベニヤ板をひいてやりました。

【委員】せっかくお金をかけて倉見の施設を造ったので、伝統的なものと新しいものをやってはどうか。そういう組み合わせの面白いのではないか。

【事務局】それは可能だと思います。

【部会長】新旧でいいですね。5分、10分程度ですし。これは図書館部会でも話をされますか。

【事務局】はい、それはもちろん。提案いただいてお願いしにいきます。先方のスケジュールなどの都合など可能であれば。

【委員】他にもこんなものがあるよ、というものがあれば出していただいて。

【事務局】はい、他にも公民館サークルでこんな団体があるので発表してほしい、とか。

【副部会長】文化祭でも和太鼓演奏はしていますね。

【委員】和太鼓は他のところでも見たことがあるので、私は琴がいいと思います。琴はあまりないので。

【副部会長】中学校の部活でやっていますね。

【委員】ええ、旭が丘中学校の。それもいいかなと思いました。

【事務局】中学生であると平日の午後に演奏依頼は難しいものがあります。

【委員】時期を早めて冬休みという訳にもいかないですね。

【事務局】中学生だと平日は午後3時頃まで授業がありますね。

【委員】アトラクションを最後に持ってくるのはできないですかね。

【事務局】それではリハーサルができません。

【部会長】それでは公民館部会からのアトラクション案としては、祭りばやし、獅子舞、自転車競技の BMX。中学生の琴は授業などがありますのでちょっと無理だと思います。これを提案ということでよろしいでしょうか。また何か案がありましたら事務局の方へお願いします。

【委員】愛川町の地区研究会であったウェルカム動画ですが、観光協会で「縄文さむか

わ」の YouTube 動画を作っています。その基本は観光協会の会長が歌詞を書いて、テミヤン氏が作曲、歌ってもらっています。動画には観光協会ですら撮ったドローンの映像と歌詞にあわせて皆さんが移した町内写真を写真コンクールに出品した写真を組み合わせて作られています。私のも 1 枚映っています。最後はエンディングロールには一之宮小学校の庭をお借りして、縄文土器を並べたエンディングになっています。

【事務局】 ウェルカム動画もやった方がいいということでしょうか。

【委員】 ただ、30 分待つというのもどうなのかと思います。見る人、見ない人もいると思いますが、「縄文さむかわ」は一応歌も入っていますが、歌は消せるという確認はとれています。

【事務局】 町にもプロモーション動画はありますが、そういう何かを流したいということでしょうか。

【委員】 30 分を待ち時間で使うのならば何か流した方がいいかなと思います。

【事務局】 大河ドラマのトークショーでも広報戦略課で作成した動画を 2 本ほど流していました。動画を流すことも入れた方がいいのではということですね。

【委員】 そういうのがいいと思います。

【部会長】 はい、ありがとうございます。では続いてよろしいでしょうか。人権講話について講師をお願いできそうな方やこのような話題をしてはどうかという案がありますでしょうか。

【委員】 どなたか心当たりはあるのでしょうか。

【事務局】 事務局案となると愛川町のように人権擁護委員にお願いするとか、町内に不登校の子どもを支援している団体の世話役の方がいるので、そういう方はどうでしょうかと思っています。20 分ほどお話いただければどうかと考えております。

【委員】 20 分は意外と短いのではないですか。

【事務局】 話慣れている方であれば短いとは思いますが。

【委員】 講師料をお支払いしますよね。それで 20 分はもったいない気がします。発表は随分長い、45 分もありますね。

【事務局】 愛川町のパターンだと 45 分でした。

【委員】 何人かで割り振ってやっていたか。

【事務局】 はい、そうでした。アトラクションをさらに 20 分入れることになると、事例発表の時間が各部会 10 分ずつ削るようになります。

【平本委員】 アトラクションを入れると短くなりますか。発表が 45 分は長いと思います。1 人で 45 分だったらきついかもかもしれません。

【部会長】 このあたりも事務局おまかせでどうでしょうか。

【事務局】 それでは事務局で案を出しますが、皆様の中に地域で良い方がいるというような情報がありましたら教えてください。

【部会長】 それではこれも事務局の方でよろしいでしょうか。続いて研究発表の内容ですが、前回の会議で出た意見を事務局で発表内容を構成した資料を起承転結で作っていただきましたが、このような内容ですすめてよろしいか、また前回の会議でも意見のあった寒川町の公民館の特徴的な事業や事例研究として講座企画、地域や学校、団体と連携した事業の事例を発表の中に入れるかどうか、ご意見いかがでしょうか。また、発表を 1 名で行うか、部会員全員で発表を分担するか、全体の役割分担にも関連

してくる部分ですが、これについてご意見をお伺いしたいと思います。とりあえず発表内容の検討ということで、※印含めていれるかどうかですけれど、皆様のご意見をお伺いしたいです。ちょっと確認ですが、全体のテーマとしては資料4の③にあります、「町民の学びを支える公民館・図書館のあり方について」で、公民館のサブテーマは別ですか。

【事務局】 はい、資料6にあるのは公民館部会の発表の方のサブテーマになります。

【部会長】 ひとつ大きなテーマがあってその下にサブテーマを入れて、それが公民館部会の発表という形で案を出されているということですか。

【事務局】 「すべての世代が集う公民館をめざして」は平成30年度・令和元年度の部会の協議テーマを持ってきたものですが、これではなくて、もっと柔らかいような、例えば愛川町では「愛川を愛する」というようなテーマとなっていました。そういうのもひとつの方法です。

【部会長】 公民館の活性化ということも含めて今年度はサークルの部分に係わってきているので、その内容でこの4年間やってきて、いろいろな資料なども集まって、皆さんからたくさんご意見も出たので、これでいいような気がします。このようにして公民館への意識が地域の方にも高まってきたというようなところに持って行っていければと思います。どうでしょうか。

【事務局】 この内容を30分の中に収めていくということで、●ひとつあたりの項目が3分から5分程度になるかと思われ。丁度、先ほど10月の関東甲信越静公民館大会での町民センターのパワーポイントの資料はスライドが36枚ありまして、発表時間が30分でした。スライドが1枚1分弱で話をしていますので、このようなページが作られれば皆さん発表時間のイメージがわきやすいかと思えます。

【副部会長】 公民館大会の内容と、今度の発表にはどのような関係があるのですか。

【事務局】 内容は関係ないです。このような大会で発表するにあたり、こういう時間配分で、資料をもとにこういうスライドを作るというイメージで紹介しただけです。

【部会長】 いかがですかね。現状、課題、課題解決の取り組み、まとめの中にいくつか項目があり、どのように迫っていったかという数字的根拠を踏まえていけば、立派な発表になるような気がしてきたのですが。

【委員】 公民館の方はいいかなと思うのですが、メインテーマをもうちょっと考えた方がいいのではないですか。今、具体的にと言われると困ってしまいますが。

【事務局】 それは2月の全体会の宿題にするということではいかがでしょうか。

【委員】 もうちょっとやわらかい表現のほうがいいと思います。

【事務局】 メインテーマは各市町村に通知を配布するまでは変更可能な部分になりますので、来年の秋頃までは考える時間はあります。

【委員】 公民館のテーマが決まっていなくてね。

【事務局】 このあたりは部会の発表の内容を詰めていく中で、テーマのタイトルをやっぱりこれにしようとか、やわらかい言葉にすることもできると思います。とりあえず発表の構成はこんな形でよろしいでしょうか。

【部会長】 今までの会議で話された内容が入っていますので。

【事務局】 それぞれの数字については、今年度の実績を入れた新しい数字を出すということで。あとは公民館部会でリーフレットを作ったというのが大きなことではありま

すので、そのリーフレットの効果はいかほどかということのを来年の4月から6月までの公民館講座のアンケートで、リーフレットのご覧になったかどうかを確認する項目をその時期だけ入れてもらい、どれくらい町民に認知が図れたのか数字を広げたいと思います。

【部会長】 それでは皆さん検討していただきたいと思います。あと※印が3つありますが、これも3つ入れると的が外れるような部分もあると思います。入れるとすれば2つ目、できるかどうかわかりませんが。部会で講座を企画し、分析するということができれば、やってみましたと出せますが、うまくいかなかったら困りますしね。

【事務局】 中高生向けはもともと参加が少ない年代で、また男性対象というものも参加が少なく企画をしても来なかった、となると分析が難しいかもしれません。

【部会長】 マイナスの発表になってしまいますね。逆に良い事例かもしれません。

【事務局】 みんなで一所懸命考えたけれどもなかなか難しいというのも一つの結果であるとは思いますが。

【部会長】 そろそろ時間がきていますので、皆さんまた次回までに検討してきてください。発表も少し伸びましたので、じっくり考えられるのかなと思います。あと、発表を1名で行うか複数で行うかということですが、これは内容的にはどうでしょうか。

【委員】 ひとつがどれくらいで収まっていくかというのがあると思います。舞台に写真などは映し出せますよね。

【事務局】 はい、もちろん、スライドの発表資料は作ります。ただし愛川町ではあまり使っていないで、口頭での発表部分が多かったです。活動の写真は子ども食堂とかラジオ体操とかいくつかあったのですが、文字で説明するものはあまりなかった気がします。

【委員】 写真があるといいね。ただしゃべっているだけよりいいと思います。個人的にはできれば、全員かどうかわかりませんが、何人かでやった方がいいのかなという気がします。やっぱり皆さんの参加意識が高まると思います。いくつに分けられるのかというのもありますが。

【部会長】 分ける部分というのがありますね。とりあえず今日の段階としてはうまく皆さんの役割が分けられるようでしたら2名でも3名でもかかわっていただいて。ずっと1人の方がしゃべっているというのも聞いている方も一本調子で入ってこないという部分もありますので。公民館部会では役割が分けられるようでしたらそういう形にさせていただくということよろしいでしょうか。ではここまでの発表に関連する話し合いですが、いかがですか。取り残したものはありますか。それではまだ先がありますので、じっくり検討していきたいと思います。

5. その他

今後の会議等の日程について

全体会 令和5年2月21日（火）13：30～

・ 県社会教育委員連絡協議会、県公民館連絡協議会関係

県公民館大会（相模原市）1月20日（金）山口委員、堀委員

県社教連理事会（横浜市）2月6日（月）森委員

	<p>地区研究会（箱根町） 2月16日（木）山口委員、仲田委員</p> <p>・令和5年度関東甲信越静社会教育研究大会の神奈川県での発表希望について 寒川町では希望しない。</p> <p>6. 閉会 堀副部長</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1 令和4年度寒川町社会教育委員会議 公民館部会 名簿 資料2 令和4年度町民センター・北部公民館・南部公民館事業実績（8～11月分） 資料3 学校や地域住民など多様な主体と連携した公民館講座・イベントづくりについて 資料4 令和5年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会【寒川町会場】に向けた検討事項 資料5 令和4年度寒川町社会教育委員会議日程（R4年12月9日時点） 資料6 令和5年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会の事例発表内容の検討について</p> <p>参考資料① 令和4年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会【愛川町会場】配布資料 参考資料② かながわ人権施策推進指針</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>・菊池英俊 ・堀洋己</p> <p style="text-align: right;">（令和5年5月2日確定）</p>